

NEWS RELEASE

報道関係者各位

2021/5/3

(株) キョードーメディアス

杉山清貴 & オメガドライブ 配信ライブ決定！

5月9日(日)、「SUGIYAMA KIYOTAKA The open air live “High & High” 2021」が東京・立川ガーデンで開催される。“High & High”は杉山清貴が20年以上も続けてきたライブワーク的なライブシリーズだが、昨年4月と5月に行われる予定だった公演が新型コロナウイルスの影響で延期となり、一年越しで開催されることが決定。とは言え、5月11日までの期間で緊急事態宣言が発令されたことを受けて、無観客での配信ライブにて開催。ライブのタイトルは“SUGIYAMA KIYOTAKA～”だが、2018年、2019年と同じく再結成した“杉山清貴 & オメガドライブ”としてパフォーマンスを行う。



杉山清貴 & オメガドライブがシングル「SUMMER SUSPICION」でデビューしたのは1983年。最近また注目されている“シティポップ”の要素を持ち合わせた洗練されたサウンドで広い層から支持され、「ASPHALT LADY」「君のハートはマリブルー」などで独自のカラーを打ち出していた。1985年12月に解散してしまうが、同年リリースしたシングル「ふたりの夏物語 NEVER ENDING SUMME」「サイレンスがいっぱい」「ガラスのPALM TREE」はいずれもオリコンランキングでトップ10入りするヒットを記録している。そして35年前、1986年5月に「さよならのオーシャン」で杉山清貴はソロアーティストとしてデビュー。ソロになってからも美しいメロディー、エモーショナルでありながら

清涼感のあるボーカルによる良質なポップスを生み続けた。

今回のライブでは、オメガドライブ時代の名曲が演奏される。杉山清貴(ボーカル)、吉田健二(ギター)、西原俊次(キーボード)、大島孝夫(ベース)、廣石恵一(ドラム)という“杉山清貴 & オメガドライブ”のオリジナルメンバー(高嶋信二(ギター)は今回、不参加)。一緒にステージに立ち、パフォーマンスをするのは2年ぶりとなるが、どの曲をどんなライブアレンジで聴かせるのか、というのもファンにとって大きな楽しみのひとつ。今年2月に杉山がブログでこのようなことを書いていた。「何となく、オメガ解散のライブの音を聴いてた。めっちゃ頑張っていていい感じ」と昔のバンドの音を聴いたことを伝え、「曲によって、アレンジにかなり遊びを入れていた」ことや「イントロや間奏や、自分たちが好きなようにアレンジしている」と、聴き直してみても発見したことがあった、と。「やっぱりバンドいいよなあ」という言葉で締めくくっているこの日のブログを読むと、5月9日のライブはその時のライブにも負けないぐらい、いい意味での“遊び”を入れてやろうと思っているに違いないと確信する。

一昨年と同じく、プラスセクションとしてファイヤーホーンズが参加し、歌のハーモニーにも厚みと深みを持たせるためにコーラス陣もサポート(ゲスト)として加わる予定だという。有観客ライブの予定が配信ライブに変更されてしまったが、歌ったり演奏したりするメンバーの様子がより身近に感じられるなど、配信ならではの良さがある。観る側としても、“遠くて観に行けない”とか“コロナ禍の中でライブを観に行くのはまだちょっと不安”とか、いろんな理由で諦めていた人たちにとっても、自宅にいながらもライブに参加できるのは大きなチャンスと言える。

1980年代の空気感と共に、2020年代の、令和の時代における最新の“杉山清貴 & オメガドライブ”もたっぷり味わってもらいたい。

報道に関するお問合せ (株) キョードーメディアス TEL 03-3407-8105

雲林院 unriin@kyodotokyo.com、佐藤 medias1@kyodotokyo.com

NEWS RELEASE

SUGIYAMA,KIYOTAKA The open air live "High & High" 2021

《ライブ配信》2021年5月9日(日) 17:00 開演

《アーカイブ視聴期間》2021年5月10日(月) 15:00~16日(日)23:59

<https://tickets.kyodotokyo.com/asp/evt/evtdtl.aspx?dmf=1&ecd=KDT01614&ucd=&jdt=&kai=>

チケット料金 4,500円(税込)

問い合わせ キョードー東京 0570-550-799

公式ホームページ <http://islandafternoon.com>

報道に関するお問合せ (株) キョードーメディアス TEL 03-3407-8105

雲林院 うんりいん unriin@kyodotokyo.com、佐藤 medias1@kyodotokyo.com